

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）コクガクインダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ミヤシタゼミナール
國學院大學	経済学部	宮下ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）チームオオクボ	フリガナ）オオクボ ナオキ	4 人	無
チーム大久保	大久保 直輝		

研究テーマ（発表タイトル）
保険サービスを活用した健康促進プロジェクト

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本は平均寿命が長く長寿国であるといわれているが、実際は医療の進歩によって寿命が延伸しているだけである。個人が自立した健康な生活を送れる期間いわゆる「健康寿命」は平均寿命よりも大幅に短い。この平均寿命との差を縮めて健康で長生きできる仕組みづくりを狙いとしている

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

平均寿命と健康寿命の差は日常生活の（不健康な期間）を意味し、2010年で男性9.13年、女性12.6年であった。今後、平均寿命の延伸に伴い、こうした健康寿命との差が拡大すれば医療費や介護給付費用を消費する期間が増大することになる。疾病予防と健康増進、介護予防などによって平均寿命と健康寿命の差を短縮することができれば個人の生活の質の低下を防ぐとともに社会保障負担の軽減も期待できる。健康寿命を延ばす3つのアクションとして“適度な運動”“適切な食生活”“禁煙”が必要となる。その中でも私たちは“適度な運動”に着目した。その理由として毎年5万人もの人が運動不足を原因に亡くなっているからである。健康寿命を延ばす取り組みは国も推奨しており、現在では地方自治体や企業などでも様々な取り組みが行われている。

3. 研究テーマの課題

科学・技術の進歩とそれに伴う自動化・機械化は国民の生活を豊かにし、便利になった。しかし、一方では身体を動かす機会が減少した結果、運動不足が原因となる肥満・高血圧・糖尿病などが増加し運動の必要性が高まっている。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

健康寿命を延ばす取り組みとして“適度な運動”に着目し、それを歩くと定義した。（この歩くとは厚生労働省が行っている Smart Life Project で推奨された取り組みである。）現在、技術の進歩によって生活が豊かになる一方で、運動不足・偏った食生活をする人々が増え「生活習慣病」という新たな問題が浮き彫りになっている。

その筆頭にいるのが「メタボリックシンドローム」いわゆる「メタボ」である。メタボは「糖尿病予備軍」とも言われ、年々この糖尿病予備軍とともに糖尿病患者の数は増え続けている。しかしそういった持病を持つ患者を直接的にバックアップする機関はなく、入れる保険も少ない。私たちは、保険会社の新たな取り組みとして、患者を支援、サポートすると同時に健康促進も見込める新たなビジネスモデルを提案。

保険加入者にウェアラブル型歩数計（データの保存・管理機能）を配布。患者の歩く歩数を計測する。1 日 1 万歩を目標とし、月に 30 万歩を目指し基本の保険料金から保険料が引き下げられる。加入者側のメリットは、持病があると高くなる保険料を少しでも安くすることができるとともに、歩くことによって病気の予防・進行抑制も期待できる。保険会社側からのメリットとしては、糖尿病が上に保険に入りにくい人が多くいるため、多くの加入者が見込めるとともに、加入者の健康を促進することで、長期的に見て支払う医療費の軽減につながる。国のメリットは糖尿病にかかる治療費が軽減できることで、国全体の社会保障費も軽減できる。それと同時に国民の健康を促進できる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- 1.保険会社「アメリカンホームダイレクト」で働く方にヒアリング調査
- 2.糖尿病患者の方へヒアリング調査
- 3.大学生に「もし将来糖尿病になったら」というアンケート調査

6. 結果や今後の取り組み

このプロジェクトによって疾病予防と健康増進ができ、平均寿命と健康寿命の差を短縮することができれば、個人の生活の質の低下を防ぐとともに、社会保障の軽減も期待出来る。このように持続可能な社会保障制度にも資する新たな国民健康づくりを展開する。

7. 参考文献

厚生労働省 Smart Life Project <<http://www.smartlife.go.jp/about/slp>>

健康日本 21 <<http://www.kenkounippon21.gr.jp/>>

厚生労働白書第 3 章 <<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/14/dl/1-03.pdf>>

国民健康・栄養調査結果 <<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000106405.html>>

株式会社鳥谷建設 HP <<http://www.toriyabe-h.co.jp/>>

日本生活習慣病予防協会 HP <<http://www.seikatsusyukanbyo.com/>>

エクセルエイド小額短期保険株式会社 <<http://www.excelaid.co.jp/>>

アメリカンファミリー生命保険会社 <<http://hoken-af.com/ever/index.html>>

株式会社 タニタ <http://www.tanita.co.jp/cms/common/pdf/business/tanita_program.pdf>

愛知県大府市 <http://www.city.obu.aichi.jp/contents_detail.php?frmId=21729>

糖尿病ネットワーク <<http://www.dm-net.co.jp/calendar/2016/025331.php>>

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。